

3 土砂災害に備えて

日頃の備えと早めの避難



土砂災害の危険がせまったとき「避難しなきゃ!」と思っても、避難する場所や方法がわからないと、よけいな時間がかかり、早く避難できなくなってしまいます。「早めの避難」を安全に行うために、「日頃の備え」を確認しておきましょう。

日頃の備え ～土砂災害に備えて確認しておきたいこと～

私たちのまちでは、危険な場所や区域を調べて危ない所を示す地図(土砂災害警戒区域等マップや土砂災害ハザードマップ)を作ったり、看板を立てたりして、日頃から土砂災害の情報を私たちに知らせる活動をしています。これらの情報を確認して、土砂災害に備えておきましょう。

◆土砂災害警戒区域等マップや土砂災害ハザードマップを見てみよう

土砂災害警戒区域等マップ



web版



スマホ版

鹿児島県内の土砂災害が起きそうな危険区域や土砂災害が起きたとき被害を受けそうな範囲が確認できます。

鹿児島県のホームページで見ることができる地図です。

<https://www.sabomap.jp/kagoshima/>

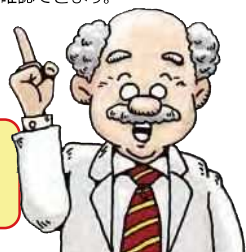


土砂災害ハザードマップ

地域ごとに土砂災害が起きそうな危険区域や避難場所が確認できます。

また、土砂災害への備えや早めの避難に役立つ情報が確認できます。

市役所・町村役場でもらえる地図です。土砂災害の危険がせまったとき、どこの場所が危険なのかが分かり、安全な避難にも役立つ地図なので、いざという時のために目を通しておこう!



◆家の近くに危険な場所はないか調べてみよう

土砂災害が起きそうな危険な場所や区域には、看板が立てられています。みんなの家の近くにはないか、天気の良い日に調べてみよう。



◆避難方法や連絡方法を家族で話し合おう

避難場所までのどのくらいの時間がかかるのか、家族と一緒に歩いてみよう!!

避難場所と避難の経路を確認しておこう

家の近くの避難場所はどこか、土砂災害ハザードマップなどを使って、おうちのひと確認しておきましょう。また、家から避難場所までの道順も決めておきましょう。

おじいちゃんやおばあちゃんの家の近くも調べてあげよう!



別々で避難した場合の連絡方法を確認しておこう

学校から直接避難することもあります。家族と一緒に避難できなかったときの連絡方法を決めておきましょう。



防災グッズをそろえてみよう

貴重品(現金、通帳、印鑑など)

避難用具(携帯ラジオ、懐中電灯など)

生活用品等(携帯カイロ、軍手、スリッパ、乾パン、飲料水など)

他にも、メガネ、薬など、生活に必要なものも準備することが大切じゃ。



◆避難訓練には積極的に参加しよう

私たちの命を守るために大事なことを教えてください。いざ!という時あわてないように、避難訓練には積極的に参加しましょう。



3 土砂災害に備えて

日頃の備えと早めの避難



土砂災害の危険がせまったとき、私たちはどのような行動をとったらよいのでしょうか？
どのようなことに注意したらよいのかを考えながら見てみましょう。



早めの避難～土砂災害の危険がせまってきたときの私たちの行動～

まちの人たちの行動

危険を知らせる努力

県や市役所・町村役場の人たちが車や徒歩で情報を集めます。また、雨が降った量なども調べます。



情報収集

私たちの行動

危険を知り、被害者にならない努力

テレビ、ラジオ、インターネットなどで情報収集！

- ・今から雨がどのくらい降るのか？
- ・台風がいつごろに近づくか？
- ・近くで土砂災害が起きているところはないか？



危険性の判断、関係機関への連絡・避難場所開設

災害の情報を集めて、必要なところに連絡をします。また、避難場所を開設します。



市役所・町村役場から出される避難情報にはよく注意するんじや！



早めの避難の準備

- ①避難場所までの安全な避難経路を確認する
- ②くつや懐中電灯など、避難に必要なものの準備
- ③ガスの元栓をしめる
- ④防災グッズ(P.22参照)の確認

早めの避難

レベル4土砂災害危険警報の発表

土砂災害の発生する危険が高いですよ。気を付けてください。

この場所は危険なので避難してください！！

避難指示の発令



安全に避難できるように、地域の人や警察、自衛隊など、いろいろな人たちが活動しているんです。

避難指示がでたら、危険がせまっている合図じゃ。安全を確保するために、早めの避難を実行しよう！

もっと教えて！砂防博士！！

Q1.なぜ「早めの避難」が大切なの？



避難しようとしたとき、雨や風が強くて歩くことが大変になったり、強い風で物が飛んできてケガをする可能性があるんじや。安全に避難するためには、早めの行動が一番じゃ！！



Q2.避難しても災害が起きなかったら意味ないんじゃない？



避難しても、災害が起きなかったら損した気分になっちゃうかも…家でゲームだってしたいし…

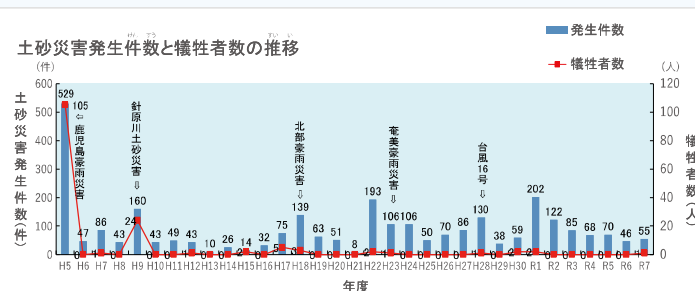
早めに避難することは、いつ起こるかわからない災害から大切な命を守る一番の方法じゃ。災害が起きなかったら、命も家も無事だったということ！損じゃない！何事もないのが一番じゃ！



Q3.「早めの避難」で本当に僕たちの命が守れるの？



鹿児島県では多くの土砂災害が起きているんじやが、犠牲者がいない年もあるんじや！これは、地域の人が協力して、早めに避難するなどの身を守る行動をしたおかげでもあるんじやよ！



まとめ

土砂災害から私たちの大切な命を守るためには、

- みんなで協力し、災害にあわないための努力「日頃の備え」を忘れないこと！
 - 災害の危険がせまったときは、みんなで助け合って「早めの避難」をすること！
- この2つが大切なんじや。

実際に、「日頃の備え」と「早めの避難」をしっかりと実行して、土砂災害の犠牲者ゼロに取り組んでいるまちがあるんじやよ！最後に、どのようなことに取り組んでいるのか、そのまちの人たちに話を聞いてみよう！

